

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	北本市					
提案事業名	マルシェを通じた地域参加人口創出事業					
事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) (1) マルシェボランティア数、(2) マルシェ来訪者数					
	(成果検証の具体的な方法) (1) ボランティア名簿の作成及び管理 (2) マルシェ当日の来訪者数カウント					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (R2年3月時点)	(1)0 (2)0	目標値 (R3年3月時点)	(1)20人 (2)10,000人	実績値 (R3年3月時点)	(1)44人 (2)302人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	— —	稼働率 (%)	(目標) (実績)	— —
	住民への公表状況 及び特記事項	ホームページで公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① マルシェを通じた地域参加人口創出事業	△	マルシェにかかわるボランティア育成、北本でのマルシェの価値を考えるワークショップ(マーケットの学校)を行うことで、目標値を超える地域参加人口(ボランティア)の獲得を行うことができた。 マーケット来訪者に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で、大規模マルシェを開催することができず、目標値を達成することは出来なかった。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

<p>実施事業について 十分に成果が認められた点</p>	<p>北本市シティプロモーション事業の成果指標としているmGAP（修正地域参画総量指標）は、昨年から大きく向上（+61%増）し、また、本市の人口の社会増減数をみると、シティプロモーションターゲット世代の減少数が劇的に改善し、全世代においては209人増加となっており、令和2年は1年間を通して社会増となった。これは平成15年以降、17年ぶりの社会増となる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で、マルシェを開催することが難しかったため、マルシェにかかわるボランティア育成、北本でのマルシェの価値を考えるワークショップ（マーケットの学校）を手厚く行い、その様子をYoutube配信（計1,202回視聴）、WEB記事掲載（計9,964PV）することで、今後のマーケット運営に関して核となる人材の獲得及び市のプロモーションを行うことができた。</p> <p>市主催以外のマーケットが随時開催（つみいしマーケット等）され、自主的なマーケット開催を促進することができた。</p>
<p>実施事業について 成果が不十分である点</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、マルシェを開催することが難しかったため、当事業内では小規模なマーケットを行うことしかできず、本事業の成果指標としていた、マルシェ来訪者を目標まで獲得することができなかった。</p>
<p>成果検証を踏まえた 今後の改善策</p>	<p>今後は新型コロナウイルス感染症対策を行い、分散型によるマルシェ開催と、引き続きボランティア育成のためのワークショップを行う。市役所芝生広場でのマルシェ（&greenMarket）は月1回開催、その他のマルシェ創設を促進する活動を引き続き行っていく。</p>